

『土コレクションを作ろう』 5歳児6月



エピソード

A 児、B 児、C 児が裸足や手で泥の感触を味わっていました。

A 児「先生、ここの泥はネトネトや」

B 児「あっちの泥（水分量が少し多い）はとろーりやねん」

C 児「C も触ってみる。ほんまや。先生、土コレクションを作ろうよ、ここの泥を持って帰って乾燥させたら土コレクションできるんちゃう？」

「築山の砂も土コレクションに使えるんちゃう？」

「砂場の土も持って帰ろう」

砂場や畑など園庭のあちこちで土を集めて保育室に持って帰りました。その後・・・

「色が違う」「こっちは石が多いわ」「どこでとってきた土か忘れそう」「土のコレクションの本にあったみたいに場所がわかったらいいと思う」

保育者が園庭の地図をかくとその上に番号を書き、どこで採取した土なのかをわかるようにして土コレクション作りが始まりました。

子どもの心の声や学び

<発見>「ネトネト」の泥

<共有>「僕も触ってみたい」

<過去の経験>とろーりの泥を知っている

<ひらめき> <提案>土コレクション作りたい

<観察・比較・発見> ここにも違う土がある！

<発見> 色が違うよ。石が多いのもある。

<試行>場所がわかったらいいな。

<挑戦>本には地図もあった。やってみよう

土の変化に興味を持ち、気付いたことを友達と共有していました。共有と過去の経験が結びつき土コレクションを作るという遊びにつながりました。

保育者の思い

・日々、土に触れる足や手の感覚、見た目でも土の性質を探ろうとしていました。そんな子ども達の刺激になると本「土のコレクション」を読みました。

・感じたことや考えたことなどを友達や保育者と伝え合い共有しながら、充実感をもって遊んでほしいなと思っています。

家庭だったら・・・

土の色、木の色など身近にある自然に目を向けてみてください。子どもらしい発見があると思います。その思いや発見をまた私たち保育者にも教えてくださいね！